



の就職合戦

その巻

ぼくには・・・
いろんな成分があるのに
就職できるのかな～？

コンセプト

普段私たちの身近にある豆腐からカスとして排出されている『おから』。地方では、家畜のえさとして使われていますが、都心部では、行き場のない産業廃棄物として処理されています。おからは腐敗するのが早く、水分を大量に含んでおり、輸送が大変なため、産廃物として処理する他ないようです。豆腐を作っている業者では、処分処理業者に毎月高い処分料を支払い引き取ってもらっているのです。

おからは食べられるもの。そこで私たちは、産業廃棄物として捨てられているおからを利用して、何か作れないか、おからの使い道、言わば就職先を探し出せないものかと考えました。



OKARA
POWER

おからくんの成分 <100g中>

エネルギー	89kcal
タンパク質	4.8g
脂質	3.6g
糖質	6.4g
カルシウム	100mg
鉄分	1.2mg
ビタミンB1	0.11mg
B2	0.04mg
E	0.2mg

おからくのはたらき

<食物繊維>

腸の中で有害物質を吸収したり消化吸収のスピードをコントロールする。

<タンパク質>

体の肉、皮膚、骨、髪の毛などを作るもと
ホルモンを作るもと

<脂質>

エネルギー源

<カルシウム>

骨や歯になる

<鉄分>

筋肉や血液になる

<ビタミンB1,B2,E>

不安定な心をしずめる
疲労物質を取り除く
食物の消化吸収をうながす
妊娠の条件をつくる
呼吸器を守る
運動能力を高める
脳卒中、心臓病、ガンを防ぐ
血流をよくし、老人ボケを防ぐ



の就職合戦

その貳

アンケートの結果(101人回答)

Q.あなたはおからを食えますか?



- よく食べる
- たまに食べる
- あまり食べない

食べない理由ベスト3

- 1位 作れない・めんどう
- 2位 匂い・食卓にのめらない
- 3位 あまり店で売っていない

嫌な理由ベスト3

- 1位 食感が悪い
- 2位 味が悪い
- 3位 見た目が悪い・口酸化する

アンケートから読み取れること

おからは悪いイメージが強く、あまり食卓にのめられないようだ。ひかひか、栄養価の高さや、もっと違った調理法を加えれば食べる機会も増えると思う。

初案7

現代人は栄養が偏っているため、おからのように栄養が豊富な食品が必要不可欠であり、子供から大人まで美味しく食べられて、簡単に作られるおから料理を提案します。

味の薄いおからを料理に入ると、おからの味も食感も感じず食べられ、体に栄養を取り入れることができるというわけです。

栄養満点の料理ができそうだね!



調理例

私達は、クッキー、ハンバーグ、団子、らどんを作りました。

<クッキー>

粉力比: おから=2:1

<ハンバーグ>

ひき肉: おから=3:1

<団子>

団子粉: おから=2:1

<らどん>

粉力比: おから=6:4

<お粥>

おからにイースト菌を混ぜ、発酵させたアルコールを作る。

<おからドリンク>

おからをティーパックに入れお湯のよらにひく。食感が悪く入っても飲みやすい。

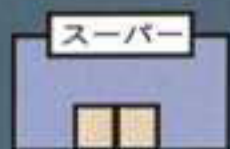


の就職台戦

その巻

提案2

おからを食用飼料だけでなく、工業的に利用できないものか？
おからの成分を使い、限りなく再利用できる完全リサイクル誌を考えました。



おからリサイクルセンター

業務内容

- ・おからフレーク
(おからを真空乾燥させ、パウダー状にする。)
- ・おから活性炭
(おからを焼いて炭にし、用途に合わせて加工する。)



使用済みおから活性炭

再生活性炭

有害ガスの循環処理として活性炭を使用する。

発電所

使用済活性炭を燃料として、火力発電を行う。電気・温水を工場や家庭に供給する。

電気・温水を供給する



活性炭再処理プラント工場

汚れた活性炭の中から不純物を除去し、再生活性炭を作る。



食物生産プラント工場

業務内容

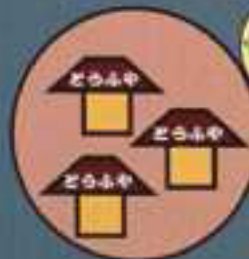
- ・おからポット
(おからフレークから繊維組織を抽出して、花や野菜の用途に合わせてポットを造り、栄養素を混合させ製造する。)
- ・食物生産ライン
(温水や電気を利用し、栽培温度を一定に保ち食物や花の生産をライン化して安定供給する。)



生産物の安定供給



生産物



おからポット



の就職台戦

その四

提案3

おからの良さや提案1,2で提案したものを、どのようにたくさんの人に知ってもらえるかそのPR方法を考えました。



女性向けの雑誌におからのアイデア料理を載せ、いろんな調理法を知ってもらう。子供向けの絵本を作る。おからくんを主人公に、わかりやすくおからの栄養価の高さを教える。



おからんどと題して、提案した内容をアミューズメント・パークとして建設する。



おからフレークをたくさんの人に買ってもらうためTVコマーシャルで宣伝する。

まとめ

食べられるおからを産業廃棄物として捨てるのはもったいないことです。もっと、おからの使い方を見直せば、きっと就職先が見つかるはずです。おからを産業廃棄物として見るのではなく、1つの地球の大切な資源として見るのが私達の課題です。



エプロン、マグカップなどおからくんグッズの販売。